

産業廃棄物排出事業者実態調査の進捗状況

1 目的

本調査は、京都市内に所在する事業所を調査対象として、各事業所の事業活動に伴って生じる産業廃棄物等の排出及び処理状況の実態を把握し、平成30年度の京都市における産業廃棄物の排出から処分までの流れを的確に把握するとともに、平成23年3月に策定した「第3次京都市産業廃棄物処理指導計画」（以下「第3次計画」という。）の進捗を確認し、及び第3次計画の期間満了（令和2年度）後の次期方針の策定等に資する情報を収集することを目的としています。

2 調査概要

(1) 調査対象区域等

京都市内全域

(2) 調査対象期間

平成30年度（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(3) 調査内容

ア 産業廃棄物の排出量及び処理状況の実態把握

- ・ 市内の排出事業者を対象に、市内で発生した産業廃棄物の排出量、再生利用量及び最終処分量を調査し、推計
- ・ 産業廃棄物の広域移動量（中間処理、最終処分別）の状況を把握
- ・ 市内の産業廃棄物の将来予測（排出量、再生利用量及び最終処分量）

イ 排出事業者及び中間処理業者の意識調査

- ・ 産業廃棄物の排出事業者（約3,000事業者）及び中間処理業者（約200）を対象に、産業廃棄物の排出、処理に関する意識、将来見込み等をアンケート方式で調査

3 進捗状況

(1) 排出事業者を対象としたアンケート調査

9月30日に、市内の排出事業者を対象に調査票を送付し、現在、回答いただいた調査票を集計しているところです。正確な数値は未確定ですが、概ね50%程度の事業者から回答がありました。

(2) 産業廃棄物中間処理業者を対象としたアンケート調査

1月上旬に、市内の処理業者及び市内の産業廃棄物を一定量処理している市外の処理業者等を対象に、調査票を送付する予定です。

(3) 予定

今年度中に報告書として、結果を取りまとめる予定です。